

山には山の川には川の妖怪が棲む

石上玄一郎〈作家〉VS 多田智満子〈詩人〉



「日本の鬼は異民族の酋長だったそうですね」石上玄一郎さん

部を『魑魅魍魎』という作品にしたことがあるんです。それは、奥山で吹雪のために山小屋に泊らざるを得なくなった連中が一つずつ妖怪の話をしていくという形式のもんです。

多田 『デカメロン』や『カンタベリー物語』式のシチュエーションですね。その中で何か一つ面白いのを聞かせ下さいませんか。

石上 そうですね、例えばこんな話があります。木樵がマンダの皮を剥ぎにひとり山へ入ると、谷一つ向うの山の尾根を壺装束の女が童の手をひいて登って行くのが見える。あんな峻しいクラカケをい

座敷童は旧家の守護神

多田 石上先生のお国は確か東北の方でしたね。

石上 ええ、盛岡です。

多田 あちらには色々面白い妖怪がいるそうですね。

石上 そうですね。面白い妖怪伝説がありましてその一

つたい何者であろうと見守っていると、突然その童が目の前に現れた。桜色の水干を着、振分髪にした美しい顔立である。驚いて山の方を見ると童はいず、母だけが立ちどまってこちらを振り返っている。木樵が童に団子をくれてやると童はそれを受けとってニコニコしたと思うと急に見えなくなった。向こうの山をみると童はいつの間

にか母の側に戻っていて、こちらを向いて会釈しながら手を引きあつて尾根をのぼり、やがて柵引く横雪の中に姿をかくしてしまつた……というのです。

多田 座敷坊っこというのもいますね。その場にいる人数を数えるとい人多いという……。

石上 東北では座敷童と言つて、旧家に多いんです。貧しい家にはいません。恐らく旧家の守護神なんでしょう。その旧家が衰退していくと座敷童もいなくなるといふ。

多田 するといふ方がいんですよ。

石上 そうなんです。座敷童や倉童とは別に、例えば鼠や蛇がいるというのもその家の繁盛を象徴しています。

多田 鼠や蛇も一種の守護霊なんですね。

石上 あるいは竈神のようなものなんでしょうね。東北に限りませんが、大きな百姓家では倉に蛇がいても決して殺したりしません。また、鼠がいなくなるとかえつて天災地変などの凶事が起こると考えられています。

日本の鬼は異民族の酋長だった



「〈隠〉つまり亡魂であったともいわれていますね」多田智満子さん

石上 倉童や座敷童は必ず倉や座敷に現われるように、山には山の、川には川の妖怪が現われますね。

多田 ゲニウス・ロキ（場所の霊）と言ふんですか、常場所に密着して現れるようですね。

石上 そうですね。川には有名な河童がいます。河童は妖怪でもユーモラスで〈善〉のイメージがありますね。

昔から太宰も芥川も作品にしている……。

多田 河童は日本独特の妖怪なんでしょうか。

石上 いや、格好は少し違ふんですが、やはり中国にその原型みたいなものがあるんです。

多田 中国には山海經という怪力乱神に満ち満ちた地理書がありますね。妖怪変化が一杯出てきて面白い本です。

石上 魑魅魍魎というのは要するに魑魅とか木霊、精霊とかいうものなんですが、鬼も一種の妖怪ですね。

多田 日本の鬼というのは〈隠〉である、と言いますが、要するに亡魂ですね。

石上 鬼哭啾啾というのは、供養するものがない亡魂が恨めしさに泣いてさまよっているというありさまですが、中国の鬼は大体そういうものらしいですね。供養してもらえなかった幽魂についての記述は、古代エジプトの『死者の書』にすでにありますが、それらは地上をさまよって残飯を食べたり、濁った水を飲んだりして非常に苦勞するといふんです。まあ、エジプト的な鬼ですね。

多田 エジプト人も供養を大事にしていましたね。立派な墓をつくり、死者をミイラにして供物を捧げる……。それは子たるものの絶対のつとめだったようです。

石上 ところで日本の鬼は〈隠〉以外にもあつてね、アイヌや蝦夷



といった大和民族以外の先住民族や異民族の酋長のこと
も鬼と言っていたそうです。

多田 大江山の鬼などもそういった異民族の鬼と見る方が
理解しやすい。

石上 ええ、それは天狗とも一致するんです。天狗は大
和民族と違って、背が高く、色白で鼻も高い、という記
述があります。どうも日本人臭くないんですよ。天狗も
また、異民族か、漂流者なんでしょうね。

魔所に近寄ると天狗にさらわれる

石上 東北には「オシラカミ」という中国からきた神が
いるんですよ。

多田 オシラさんは確か蚕の神様ですね。

石上 そうです。そのオシラさんが馬と娘との恋愛物語
の中にでてる。

多田 異類通婚譚の一種ですね。確か、馬が娘に恋をす
るんですが、娘は厭がって、父親にその馬を殺してもら
い、その馬の皮を干しておく。その皮が娘の体に纏いつ
いて、娘を巻きこんだまま木にぶらさがる。結局娘は馬
頭の形をした奇妙な虫になるんですが、それが蚕だとい
う話でした。

石上 列仙伝に、その物語が出てきますね。

多田 しかし蚕が馬頭の形に似ているなんて、奇想天外
なことを考えたものですな。

石上 そうですね。向うでは、巫女が黒子を着て、その
オシラカミの話を人形芝居でやって見せてくれるんです

よ。それがすごく日本離れしていて面白い。東北の山中
に蒙古の砂漠が現われたみたいな感じの所でね、一見の
価値あり、です。

多田 京都の北山にある志明院には、歌舞伎十八番の
『鳴神』の舞台になっている岩屋があるんですが、その
あたりで夜、座禅を組んでいると非常に奇妙な体験をす
るそうです。地面から湧き出たとしか思えない小人みた
いなものがガヤガヤ言ってるような音がしたり、鬼火が
ちらついたり。

石上 「またぎ」や「木樵」に言わせると、山には昔か
らそういう魔所があって、そこへ行くとしよっちゃう山
へ行ってる人間でもぞっとするそうです。そこに毒ガス
のような人間の神経を麻痺させるようなものが吹き出し
ていたりすることも考えられますね。

多田 すると昼夜に限らず気味悪い所なんですな。

石上 そうですね。昔からそこへ行ってはいけない、そ
こへ行くと天狗にさらわれる、とか言い伝えられている
所なんですな。

多田 しかし現代は都会もどこも明るくなりすぎて、本
当の闇がない。魍魎も棲息しにくいでしょうね(笑)。
石上 東北の山奥なんかに行くと、それこそ天狗でもや
って来そうな深々と身に迫る闇を感じます。ああいう所
では人間の想像力も鋭くなりますね。

多田 確かにそうですね。夜の闇というのは理性の働き
を抑えて、想像力をむやみにかきたるところがありま
すから、ふだん、家の中にいてさえ、眠れない夜に、闇

の中で目を覚まして時など、昼間と全く違う異様な感覚が働きます。

石上 それに、昼は夜と違って酒が飲めないようにできてるんですよ(笑)。昼酒というのはどうもいけません。

妖怪の本体は落魄した神々の姿

石上 昔はね、非業の死を遂げた人間の葬り方は違っていたんですよ。まともに葬らずに橋の袂に頭から逆さにしたり、うつむけたりして葬っていた。中国では俯身葬というんですがそれは災難や疫病にかかって死んだ人が、この世に亡魂となって出てこないようにと葬ったんです。

多田 仰向けに葬ると口から靈魂が飛び出して危険だと言うので俯けにしたりしたんでしょうね。

石上 ひどいになると人の歩く道の下に葬っている。多田 ヨーロッパでも、例えば自殺者はキリスト教界では罪人です。そういう葬り方をしていたようです。

石上 橋の袂などには葬られた人間が亡魂となって、鬼面というか、鬼の形で留まっているかもしれませんね。

多田 大体、鬼の面は青黒くて牙がむき出していたりしますが、あれは死者の相だそうですね。死んで、徐々に腐敗していく人間の相を意匠化したものなんでしょう。とすると、或る意味で、人間はみな、死ねば鬼になる……。

石上 民族学者に言わせると、妖怪の本体は落魄した神々の姿だそうです。神々も恩恵をもたらししているうちはいいんですが、流行らなくなると崇^{ホムレ}りをする以外仕方な

くなる。

多田 日本は特に崇りや怨霊を恐れますからね。しかし非業の死を遂げた人でも、庶民であれば、神霊としては大したポテンシャルを持たない。菅原道真とか相良親王のような位の高い人だと恐るべき怨霊となるんですね。

古代にも大麻常用者がいた

石上 外国にはモンスター、ゴースト、ファントム、ゴブリンとか色々な妖怪がありますね。

多田 先程志明院の住職の体験談を申し上げましたが、地面から現われる地霊のような小人のようなもの、あれはヨーロッパでノーム(Gnome)と呼ばれている一種の妖怪で、万国共通のものでしょうね。ゴブリンというのもノームの仲間だと思います。

石上 外国の妖怪は知らないせいか、余り凄味がありませんね。やはり凄味があるのは日本のものですね。

多田 そうですね。吸血鬼など余り魅力ありませんね。

石上 怨念っていうのは、恩恵が即、災害であるという日本のようなモンスーン地帯の気候の不可抗力のもので、晴らすことのできないものだと思いますね。

外国ではその怨念を晴らすことができる状態にある。

多田 そういえば、吸血鬼に相当する上田秋成の『青頭布』というのはすごく鬼気迫るものがあり、美学的にも優れていて、あれほどの作品は外国の吸血鬼小説なんかにはないように思います。

石上 あれこそ『雨月物語』中の傑作ですね。



多田 山の気味悪い魑魅魍魎の出てくる泉鏡花の『高野聖』も迫力ありますね。鏡花は妖怪についての感覚を優れて持っていた作家ですね。ギリシヤの神々も、古い神々は気味悪いんです。美しくて人間的なオリンポスの神々に至るまでの第一世代に、ガイアとウラノス、第二世代にクロノスとレアがいます。クロノス、レアの世代はティタン神族という怪物の多い神々の一族ですね。百腕の巨人だの一つ目の巨人だのいまして。そしてこのティタン神族の次の世代がゼウス達オリンポスの神々です。

石上 その後にゴルゴンやメデューサが生まれますが、あれも怪物ですね。

多田 ゴルゴンはおそるべき邪眼の持ち主ですね。その醜怪な顔をまともに見た者は石になる。しかし恐いものは善と悪の二面を持っており、それを上手く使えば守り神になります。ゴルゴンの面はアテナ女神が楯につけているし、家々の竈や門にもよくつけてあるんです。

石上 同じギリシヤ神話にでてくるミノタウロスも人半牛の妖怪ですが、あの原型はエジプトのアピスですね。

多田 ミノタウロスは化け物である以前に神でしたからエジプトのアピスと共通しているといえるでしょう。ギリシヤも古い世代では、神々ですら牛や馬であったという痕跡が認められます。

石上 人面獣身、獣面人身といったモンスターが神だったんですね。スフィンクスも奇妙な複合動物だが…。



世界中の妖怪談をめぐって対話はつづく…。

多田 エジプトのスフィンクスは地平線上のホルスの一つの相で、ギリシヤのスフィンクスと何の関係もないのですね。あれはピラミッドのガーディアン、守護霊みたいなもので。

石上 日本の神社の狛犬みたいなものかな(笑)。

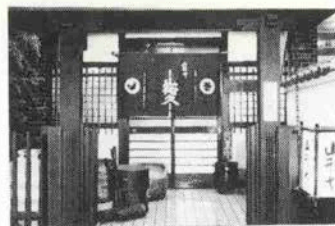
多田 オイディプス神話のスフィンクスは女の顔で、ライオンの姿で、鳥の羽根を持っている。しかしあれにはガーディアン^①の性格はないです。謎をかけては人を殺すばかりで。

石上 ああいう複合動物は大麻などを吸った時、幻覚に現われるそうです。だから古代人達もそういうことをやっていたかもしれませんね。それはフランスのアンリ・ミショーが実際に体験したと書いています。スフィンクスにしろ、ガネサにしろ、違った動物をかくも見事に複合

している(笑)。これは私の憶測ですがやはり幻覚剤のせいだと思えますよ。古代インドのヒンズー教の十一面観音なども普通の人間の想像力を超えています。あれも大麻^②か何かの作用だと思えますね。『アヴェスター』にははつきり大麻を飲んだという記述があるし、『ヴェーダ』にも大麻について書かれてある。しかしあの十一面観音の正面の顔はいいが、背後の顔というのは気味悪いですね。当時の人はすでに人間の心のアンビバレンツに気付いていたんですね。

多田 憤怒の相や嘲笑の相があったりして、あの観音の十一面相は一人の人間のさまざまな心を表わしたものだと思えますよ。

石上 そうすると人間それ自体が妖怪であるのかもしれないね(笑)。



山形や裕久コレクション・10

玄関脇の九州産の竹が青々と繁る。さすが天然記念物だ。感心するのは早い。店内に所狭しと飾られた古陶器の数々。いずれもご主人の山形さんが永年かかって蒐集したもの。眼のある人なら思わずほおっとうなってしまう。その器に季節の風味が盛られて出て来る。味よし器よし。“通”にとって贅沢な店だと言えよう。

- ①古伊万里六寸皿仙人図
- ②豆皿串高台牡丹に扇面図
- ③琉球徳利
- ④飯茶碗鳳凰に丸紋笹図
- ⑤猪口柿右衛門染付秋草の図
- ⑥猪口唐津魚紋図
- ⑦輪島塗吸い物碗

※コース（皮、ズリ、きも、ねぎ身、ミンチ、野菜2種類）の他に、真夏の味覚として五目山菜釜めしなどの美味しい季節となりました。



焼鳥 釜めし

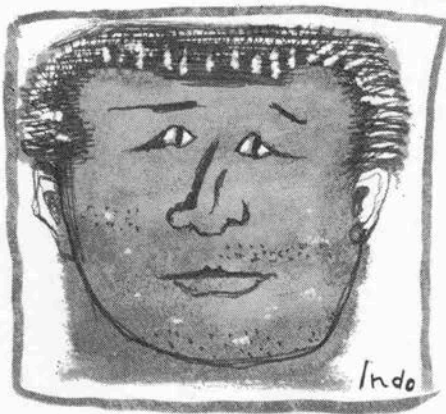
古陶器の逸品で味わう季節の風味…

山形や 裕 久

神戸市東灘区本山北町3-11（本山市場東）
（阪急岡本・国鉄摂津本山各駅から徒歩3分）
電話（078）452-2905 午後5時～10時 月曜休

醫 師 岩

徳留節
繪 / 犬童 徹



岩が、なみだを押し分けてとびこんできた。岩の後では積乱雲が空をかきまわしていた。岩は、肩をいからし、日が熟すのを待っている。

——眠ったようです、とクミが私の横に腰をおろした。海草のにおいがした。私と目があうと、こんな若い人、婿さんにもraitたいもんじゃわ、と笑った。私もつられるように笑い、こめかみに熱が集中するのを感じた。

——ほんにねえ、辰吉さんもあんなのように若かった。わたしも若かったとよ。でも、戦争がねえ……ま、わたしはいまの主人にめぐりあえたからいいけど、辰吉さんのことと思うとねえ、かわいそうなんて言葉では片づけられんもんがあるしねえ。

——辰吉さんとは婚約しただけですか。

——たった一晩だけの結婚生活じゃよ。何がなんだかわからんうちに何もかもすんで、気がついたらわたしは

ひとりぼっちになっていたという感じじゃったねえ。

——ぼくにはわかりそうもないなあ、そんな気持、

——そうじゃろうねえ、あんな気持になるのは、わたしたちだけで充分じゃよ。

岩は、今何に見えるだろう、と私は自分にたずねる。

雲がさきほどよりも高くわきおこり、日をおくし、岩をも包もうとしている。岩は全身に力をはりつめ、雲をかき抱こうとする。はげしく抱き合う男と女。かぎられたわずかな時間。その時間が過ぎ去ってしまったえば二人はもう二度と逢えない。悲しみが、怒りが、そして愛が煮えたって力になり、抱きしめあう。岩は苦悩し、岩は咆哮する。

——でも、どうして、と私は岩と雲を見つめたままつぶやく。戦争に行くってわかっているのに結婚なんかしたのだろう。

——そうじゃねえ、まわりがそうじゃったからねえ、それに、お婆さんがひとりになってしまいうねえ……やはりまわりの言うことには逆えなかったねえ。

——辰吉さんもそうだったのかなあ。

——そうじゃねえ、やはり母親ひとりを残してはいけんわねえ、でもあのひとはそれだけじゃなかったと後でわかった、あのひとはほんにわたしを好いてくれとったとよ。

クミは言葉をきり、うつむき、エプロンの端糸を揉む。三十余年の光の流れが白い糸の中に揉み込まれてはほぐされ、揉み込まれる。

——あのひとは、わたしにふれようとしなかったとよ、自分は死ぬかもしれない、そうなったらおまえに一生負担をかけてしまおうと言っただけ……

嗚咽が唇をきる。糸くずはきつく揉まれ、ほぐされ、また揉まれる。岩は、雲の奥深くにある太陽を求めて、もがく。

夜になって、老婆は少し持ちなおした。熱も下がり、クミがつくつくくれた粥を音をたててすすった。私はほっとする。しかしクミはしきりに家の方を気にしている。源がまだ帰って来ないのだ。もし十時までに帰らなかったら私が岩まで行ってみることにする。

老婆は粥をすすると眠った。

私は縁側にねころんで海を見ていた。テレビでも見たら、とクミが言ったが、こんな所まできてテレビなど見る気にはなれない。私は海をみていた、老婆の言った筏をさがしていた。波が家からもれるわずかな光をもとめて、暗黒の彼方から駆けてくる。筏は、どこにあるのか。辰吉の住むという国へつくばく筏は……南方の小島、生きのびた兵士が砲撃でなぎたおされた木を葛で結わえつけて筏をつくる、海へ乗り出す、北へ、祖国へ、母の国へ、だが生木の筏は数メートルも行かないうちに沈んでしまふ、兵士の声が波間を伝う、母を招く声が……波は

黄泉の国からわきおこつてきては砂浜にかけあがり、母の眠る家をめざすが、わずかに二メートルほどの防潮堤を乗り越えることができない。

——このテレビはね、とクミの声私が私を現実につれもどす。うちの人が買ってくれたのです。母さんの喜びようたらね、あの冷蔵庫もそうじゃつとよ。わたしはしあわせ者よねえ、ほんとに……亭主を二人も持って、と笑った。

そうかもしれない、と私は思った。私の母のようにひと息子に逃げられ、亭主が定年が近づくにつれて命に砲をかけられるような気持で生きているより……仏壇の目覚し時計が十時を示す。源は帰って来ない。私はでかけることにした。ひとりでは心配だから誰か一緒に行ってくれる人を頼んでくると、クミは家を出て行った。

私は辰吉の浴衣を脱ぎ、自分のジーンズに着がえた。あの街の臭いが私をつつみこんだ。老婆は辰吉の作業着もしまっているにちがいないと思ったが、老婆を起こすことになるのであきらめた。

外で私を呼ぶ声がした。私は老婆を見る。睡魔が熱の苦しみも夢も追い出しているのであろうか、老婆の寝顔は波の音を鎮めるほどに、静かだった。筏を渡ったりしてはだめだよ、私は声をかけ、外に出た。

ふたつの懐中電灯が私を待っていた。クミが自分の電灯を私に渡してくれた。男は昨夜の酒宴で見た顔だ。甚作と名のつた。四十歳ぐらいで、この村のみんなと同じように潮風に晒された顔をもっていた。

甚作が先に立って歩き出した。ふりかえると、門口に投げ出された明りの中にクミが立っていた。甚作は黙って歩いた。バス道路を横切り、岩への道に入る。クミはまだ立っていた。私は大きく灯を振った。クミの手が明りを払いのけるように揺れ、おたのみます、と声が闇をつきぬけてきた。

岩を見上げた。一瞬、巨大な口の中にのみこまれたような錯覚にとらわれた。岩は闇よりも黒い口で星を囁み

碎っていた。私のかざす灯も飲み込んでしまふ。

——源小父のもの、

闇の中から声が下りてきた。私は灯を下ろす。甚作の機敏に動く肩があった。

——あんなにまで思い込んでも良かとのう、

その声は私に話しているというより、闇にまぎれこんでいる岩の霊に言っているような口調だった。

——今度の大戦じゃこの部落からは三人も出征したんだがよ、生きのこつたのは源小父だけじゃ。それが苦しいといつも言うとなつた。そんな気持はわかるがなあ、死んだ者はしょうがなかしなあ、御神岩様を祈つたところへ帰ってくるもんでなしなあ。

甚作はどんな歩いていく。私はついていくのがやつとなのに、彼は息もきらずしゃべりながら歩く。いい若いもんが、とママの声がした。私はこんなところでママを思い出した自分がうれしくなる。さらばだね、ママ。さよならだよ、ママ、もう金輪際、恵子によろしく。ぼくは信と恵子をはりあつてもよかったんだが、それがどんなに億劫なことだったか。さらばだ。そのうちあんなちは記憶の戸棚から私をこみのように掃き捨てるだろう。あの街のすべてが私を忘れるだろう。私も——でも私は老婆を忘れることはできないだろうし、岩はいつまでも私の胸に居坐りつづけるだろう、そして私は辰吉を体験した。私は私だし、辰吉でもあるし、辰吉は三十三年後の二十歳に私のように生きただろう、私も三十三年前の二十歳に辰吉のように死んだ。

——源小父はなあ、

甚作の聲がかぶさってくる。彼の地下足袋は私の灯の中で地に吸いつき、めくれる。それは溪流を登る二匹の魚影のようだ。

——御神岩様を祈つてれば自分は救われると思つたとだ。御神岩様を崇め奉れば自分が生き残つたことも、そしてあの戦争で人を殺したことも、ぜんぶ許しても来えると思つとる。そう思うのは勝手じゃから良か、で

もなあ、それを人にまで押しつけよる。御神岩様を祈らんにや、御神岩様がお怒りになってこの村に落ちて来なさるとか、神隠しにあうとか言うてな、そりやなあ、先祖代々御神岩様は村の守り神じゃつたことには違ひはないが、もうなあ、そんな時代じゃなかとになあ。

息が切れてくる。私は松の木によりかかつて深呼吸をする。甚作はどんなに進んでいく。もうなあ、そんな時代じゃなかとになあ、と私は息切れのなかで口まねをしてみる。甚作は「町の奴ら」と手を組むだろう。源もひとりで御神岩様の祭りもできないと悟り、妥協するだろう。三者が握手をすれば、源の御神岩様への至情は彼らを結びつける思想となり、「町の奴ら」はそれを観光向けにうすめ、甘味をつけて煽るだろう。辰吉はどうするだろうか。……クミの顔がうかんでくる。一生負担をかけると言つて、新妻に触れようとしなかったあの行為は、やはり源のそれに到達するものではないか。

私は歩きはじめる。やつとのことで甚作に追いついたときには頂上近くまで来ていた。

——呼んでみましようか、

と私が声をかけた時だった。上の方の闇で、だれだ、という源の聲がした。

——俺だ、甚作だ。

二人の聲が闇に打ち上げられ、静かに沈む。甚作が歩きはじめる。岩が動いた。私たちは巨大な黒い口の中にいた。

——源小父！ 甚作が叫んだ。

——頭が高い、まる見えだぞ！

私は思わず頭をひっこめた。甚作は道を登りきり、御神岩様の広場に立った。今にも岩に吸いこまれそうだった。白いシャツがぱたぱたとがいた。私も広場に這い上がった。目がなれてきて、広場のほぼ中央に、きのう老婆がいたあたりに腰から上を出し、竹ぎれを銃のように構えた源がこちらを睨んでいた。

——どうしたとだ、源小父。

頭が高い、敵前だぞ！
 なんだ戦争こっこか、こんな夜更けに。
 貴様、何者だ、撃つぞ！



甚作は源に歩みよる。

来るな、撃つぞ、うつぞ！

甚作は止まらない。私も恐るおそる後につづく。よく見ると源は穴を掘り、その中にはいつていた。

源小父、いいかげんにせんか、タコツボなんぞ掘って……戦争なんていやというほどしてきただろうに。

貴様あ、上官を侮辱するか、このオ……

突如、源は穴から跳び出て甚作に突き進んできた。甚作はよける間もなく、詰まったような叫び声をあげ、倒れた。源は勝ち誇ったように竹を振りあげ、起きあがろうともかく甚作を突こうとした。私は、肩から源にぶつかって行つた。源は倒れ、穴にころがり込んだ。私は甚作を抱き起こした。

この気狂いが、と甚作は胸をさする。

大丈夫ですか。

この気狂いが、この戦争馬鹿が！

穴の中で呻き声がし、起きあがる気配がした。

源さん、大丈夫ですか。

貴様あ、と穴の底で声が起こり、それは次第に上ずってきて、上官を突きとばすとは何ごとだ、敵前だぞ、銃殺だ！

この気狂い、おまえこそ刑務所行きだ。

甚作は怒鳴った。私は二人をなだめる。源は穴から上半身を出し、竹を銃のようにかまえる。そのすばしこさに、私は兵士を感じる。このような暗闇に、このような穴の中で、敵を待つ、いや死を待つ兵士。突如、砲弾が炸裂する。穴はより巨大な穴となり、兵士の影はどこにもない。

源さん、帰りましよ、奥さんが心配してますよ。それに、お婆さんも倒れてしまつて……

貴様、見ん顔じゃが、と源はすでに狂気の餌食になつてゐる目を私にすえて、パアロだな、と言つた。

辰吉ですよ、シズ婆さんのとこの、

なに、辰吉？……ああ、辰、

と源は構えた銃の上に顔をかぶせた。私は自分の名前を言わなかったことを後悔した。

——さ、帰りましょ、甚作さんと連れに來たのです。

——辰、すまん、タツ、ほんにすまん。おまえは死んだとばかり、思つとつたのだ、ほんにすまん、すまん……

——何を寝言を言うとするんじや、おまえが辰吉のまま
でいてくれと頼んだらうに。

甚作が口をはさむ。

——許してくれ、辰吉、なあ、辰吉よ。

源は泣きじやくりはじめた。さ、帰ろ、と甚作が源の肩に手を置いた。源はふり払い、銃を構える。

——辰、俺も男だ。こうなったら深く突撃だ。

彼はくるりと岩に向きなおった。

——目標、前方十メートル、突撃に進め！

兵士は穴をとび出る。ウオーと獣のような声をはりあげて突進する。岩が立ちはだかる。彼は一瞬ひるんだかのように見えた、が、次の瞬間まえよりも大きな声をあげて進む。岩にぶつかった。源はあおむけに倒れ、すぐさま立ちあがると竹で岩を突く。何回も何回も……彼は向かい来る敵を銃剣でなぎたおし、なぎたおし、突進する。……彼の声は岩にはねかえつてきて、私を襲う。岩は星と戯れている。

——こりや、手におえん。すまさんがのう、あんた部落まで降りて行つて加勢を頼んできてくれんか。わしが行つてもいいが、あんただけを残すと源小父はますます興奮するでな。

——源さんが疲れるのを待った方がいいんではないですか。

——うんにや、あれでは疲れる前に何をしでかすかわからん、御神岩様の天辺から飛びおりられでもしたら事だ。

私は甚作の言うとおりにすることにした。源は岩に突撃をくりかえしている。神であるはずの岩へ……辰吉へ

の謝罪として彼の一番大切な神を殺そうとしているのだろうか。それともこうなったのはみんなこの岩のせいだという憎しみからだろうか。

私は岩を背にした。道にとび降りようとしたとき甚作の声がひびいてきた。

——もうあんたは来んでも良いからね。源小父の神経に悪い。そうじや、もうこのままこの村を出た方が良い、なあ、所詮あんたは辰吉じや無かとじやから。

所詮あんたは辰吉じや無かとじやから、か。私はつぶやき、道にとび降り、所詮ぼくはよそ者です、と叫び返す。返事は帰つて来ない。源の突撃の声が岩の声となつて闇をふるわせているだけだ。

私は急ぐ。所詮、岩を神様と信じることはできませんなあ、とつぶやく。しばらく行くと、下の方に光の輪を発見した。誰だろう、私は待つことにして松の根に腰をおろす。光は息せきながら登つてきて私をとらえた。光の後でびっくりしたような人の気配がする。

——辰吉さんか、

——そうです、いえ、あの……

——あのなあ、と光はにじりよつてきて私の声をそらした。私はまぶしくて手の甲で顔を覆った。声がどもりがちにかぶさつてきた。

——シズ婆がだめじやつた。

懐中電灯が私の手からすべり落ちた。光は坂道をころがり、道からはずれて、消えた。私は光の消えたあたりを凝視していた。

——シズ婆もしあわせ者よ、あんたを辰吉と信じきれたんじやからなあ。

男の灯が私の顔から遠のいた。不意の闇に私の目はいくつもの光を点滅させた。そのとき、私は確かに見た。光が消える瞬間、老婆の小さな後姿が筏にとび乗るのを。

「我が心に唄えば」

滝えり子 LPレコード出版

大好きな歌を唄いはじめて28年...

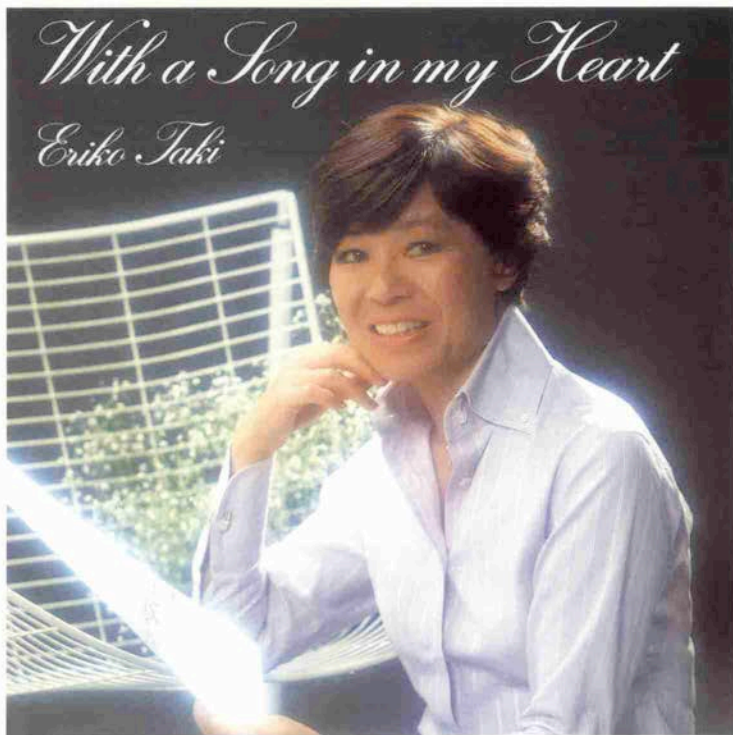
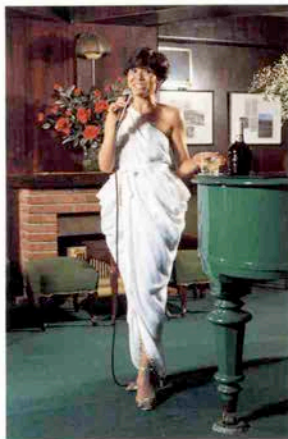
LPレコードの出版は、私の長年の夢でした。

ストリングスオーケストラをバックに懐しい
スタンダードジャズをどうぞお楽しみ下さい。

発売：9月1日より

価格： 2800円

- 神戸アルバトロス
(TEL.078-231-3300)
 - 六本木アルバトロス
(TEL.03-479-0707)
- にて、お求め下さい。



Lレコード出版記念パーティー

- 11月18日(金)PM6：30～9：00 ● 神戸オリエンタルホテル
- お問い合わせは 神戸アルバトロスまで、TEL(078)231-3300

グランド六甲サマーボウリングバック



懇親会、歓送迎会、グループの集いに 職場のコミュニケーションに みんなで楽しめるボウリングバックはいかがでしょうか

- ☐ ボウリング3ゲーム+貸靴+予約料+お食事(税込)
- ☐ 年中無休 9:00~24:00
- ☐ お迎えバス、人数等ご相談承ります。お気軽にご利用ください。



(有効期限 昭和58年9月末日まで)



AMF100L

Grand Rokko

国鉄六甲道駅南へ3分、国道2号線沿
灘区友田町5-2-3 ☎078(841)3151代
駐車場完備(180台収容)

バックのご案内



ビアーバック
¥2,300
Aバック
¥2,700
Bバック
¥3,300
Cバック
¥3,900
スペシャルバック
¥6,500

立食パーティ形式



Dバック(立食)
¥3,900
Eバック(立食)
¥2,900
Fバック(立食)
¥3,900



神戸のうまいもんとドリンキング

★日本料理

康時名代うどん あこや亭
中央区旗塚通7-1 ☎ 231-6300 トアロード店 ☎ 391-2538
兵庫駅前店 ☎ 575-5306 住吉店 ☎ 453-3737

北海道郷土料理 蝦夷
中央区中山手通1-4-13 東門筋東門会館ビル1階 ☎ 331-7770

和食くれない
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F ☎ 331-0494

料亭布引大し
中央区鶴内町4-8-19 ☎ 221-1945

たに焼たちばな
三宮センター街(旧柳蔭) ☎ 331-0572

民芸御食事処 炭焼ステーキ 五事
元町3丁目山側 ☎ 391-3156

本格派日本料理 割烹吉本
中央区中山手通2-3-20 (生田警察署西口前) ☎ 331-5817・392-2020

山菜料理 六段
国鉄三宮駅山側 ☎ 231-0406

炊風焼鳥トリドリ
中央区下山手通2-12-21 生田ソシアルビル ☎ 391-3028

そば処 木曾路
フラワーロード市役所前KEビルB1F ☎ 231-1295

鮎花銀
中央区二宮町3-10-16 ☎ 222-2323

どじょう 吾作
中央区元町通2-7-20 ☎ 321-0539

鍋・しゃぶしゃぶ 三十三間堂
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

割烹銀坐
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

甘党と ばさら茶屋
阪急三宮西口山側レインボープラザ1F ☎ 321-6363

★各国料理

レストラン グリル アコ
中央区生田町1-4-20 ☎ 242-2020(代)

レストラン 鹿鹿皮〈あらかわ〉
中央区中山手通2-15-8 ☎ 221-8547・231-3315

ステーキハウス グリル青山
中央区下山手通2-14-5 (トアロード) ☎ 391-4858

スキャンディビア料理 世界の民族音楽の店 ゴックスタッド
中央区山本通3-1-2 回教寺院前 ☎ 242-0131

フランス料理 KARIN
神戸プラザホテル2F(元町駅南) ☎ 331-4558

すていハウス 長崎
神戸市中央区布引町2-3-16 ☎ 221-1086

メキシコ料理亭 ティファアーナ
中央区中山手通1-21-13 パールコーポラスビル1F ☎ 242-0043

ピザ・パブ ピザ・パテオ
中央区元町通1-10-4 (元町1番街) ☎ 331-9378

フランス料理 ビストロドゥリオン
中央区山本通2-13-6 ☎ 221-2727

レストラン 麻布キャンティ
中央区北野町4-1-12 異人館倶楽部 ☎ 222-5380

maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード市役所前 ☎ 251-2109

ポリネシア料理 海賊焼 フィッシャーマンズポート
神戸港第4突堤ポートターミナル ☎ 331-0301

レストラン フック東店
中央区栄町通1-2-14 ☎ 321-3207

SELF-SERVICE CAFETERIA Beer House
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼 月
三宮・生田新道 ☎ 331-2509

喫茶・レストラン カフェパウルリスタ
三宮・トアロード(パウルスタビルB1) ☎ 391-0061

ステーキハウス れんが亭
中央区下山手通2-5-5 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK 六段
中央区元町通3-8-4 ☎ 331-2108

レストラン フック神戸店
中央区栄町通2-9-11 ☎ 321-3453

ステーキ&ドリンクス 神戸館
中央区下山手通2-2-9 アマツビル1F ☎ 321-2955

サンパティ プラザ料理 コパカバーナ
中央区中山手通2-1-13 ☎ 332-6694・6697

ドイツレストラン ハイデルベルク
中央区山本通2-8-15 ローズガーデン2F ☎ 222-1424

シルクロード料理 スパイスレストラン ぶはら
三宮町2-3-9 タキビル2F ☎ 331-1734

The grill BOB〈ボブ〉トアロード西山側
中央区北長狭通3-1-2 ファーストパブ2F ☎ 392-2500

あより 肉工 黒〈わっく〉
中央区中山手通1-24-1 ヒルサイドテラス1F ☎ 222-0678

炭やきステーキ 凱旋門
中央区下山手通2-10-4 新道ビル1F ☎ 392-3655

スコッチ&ローストビーフ ガスライト
神戸ワシントンホテル9F ☎ 331-6111

フラメンコと スペイン料理 エル・ヴィノ
中央区北野町3-2-4 アニルド・マンション1F ☎ 241-1344

中国料理 萬壽殿
中央区中山手2-20-4 ☎ 231-4531

フランス料理 ルー・サロメ
中央区中山手通2-3-7 第2次門亭ビル1F ☎ 392-1251

北イタリア料理 ベルゲン
中央区山本通2-3-2 ☎ 241-6952

炭焼ステーキ ステキハウス 水野
中山手通1-32-5 ベンシルビル1F ☎ 241-7500

炭火焼肉 キムズギヤラリー
中央区中山手通2-3-19 ロータリーマンション中山手1F ☎ 332-2900

ステーキハウス 伊藤
中央区御幸通7-1-20 大信ビル2F ☎ 232-3031

★喫茶

コーヒーラウンジ City of City
中央区三宮町3-9-1 ☎ 331-1117

ティー&スナック エボック
中央区元町通3-8-8 (浜側) ☎ 331-3694

喫茶 ガーデニア
中央区東町113-1 大神ビル1F ☎ 321-5114

喫茶 カフェ・ド・ガーデニア
中央区三宮町3-8 大和ビル ☎ 392-4004

LE CAFE ガーレ
中央区山本通2-3-14 ☎ 242-7144

宮水のコーヒー にしむら珈琲店
中山手店・中央区中山手通1-26-3 ☎ 221-1872・231-9524

三宮店・国鉄三宮駅山側 ☎ 241-2777
センター街店・中央区三宮町10-27 ☎ 391-0669

北野店・山本通2-1-20 ☎ 242-2467
(会 員 制) 3F事務所 ☎ 242-1880

ピアノホール バックステージ
中央区三宮町1 サンプラザ10Fサンロイヤル ☎ 332-0230

珈琲 モーツアルト
中央区山本通2-6-11 グランドマンション1F ☎ 241-3961

サンドイッチハウス ココアココ
中央区加納町4-7-11 ☎ 392-4031

珈琲 さん
中央区三宮町2-9-6 (トアロード) ☎ 391-1589

喫茶 館英屋
神戸国際会館浜側 ☎ 251-4562

喫茶 館葡屋
三宮センター街3丁目 ☎ 391-9006

喫茶 館仏蘭西屋
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎ 232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎ 251-3231

喫茶 パレストラン デューク・ウエリントン
中央区北長狭通2-6-6 (トアロード) ☎ 332-1125

ウィーン菓子 モーツアルト神戸
中央区布引町2 メゾンロージュ1F ☎ 242-3001

姉妹店・モーツアルト三宮 神戸国際会館浜側 ☎ 251-3616

茶 房 ナイル
中央区下山手通6丁目2-7 ☎ 341-7376

喫茶 モンブラン
フラワーロード市役所前KEビル1F ☎ 231-3605

ダイワイン・コーヒー ティック
中央区北野町4-9-14 ☎ 222-3200

ラウンジ カフェ・ド・パリ
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP ファミリア北野坂ハウス
中央区北野町2-8 ☎ 222-3535

喫茶 チヤロ
中央区中山手通1-24-10 ☎ 241-5470

★CLUB

club 飛鳥
中央区中山手通1-2-6 ☎ 331-7627

club 小万
中央区東門筋中島ビル3F ☎ 391-0638・4386

Member's Lounge 異人坂
中央区北野町2-9-22(三本松不動北) ☎ 222-2001

club さち
中央区下山手通2-17-13 ☎ 331-7120

クラブ 千
中央区下山手通2-12-6 ☎ 391-1077

club なぎさ
中央区北長狭通2-11-2 ☎ 331-8626

クラブるふらん
中央区中山手通1-3-1 ☎ 331-2854

club R Moon Light
Club ☎ 331-0157 BAR ☎ 331-0886・391-2696

club コトブキ
中央区三宮本通り ☎ 331-1875

★STAND&SNACK

レストランBAR 薔薇屋
中央区北長狭通5-5-22 ☎ 351-4311

サロアルバトロス
中央区中山手通1-22-10
大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

ブチヤンソン E.T.W.T.O.I
"音楽の家"
中央区三宮町3-8-12 スカイトーアビル3F
神戸トアロード三宮センター街西入口 ☎ 332-1755

Theater pub トム・キャンティ
中央区下山手通2-8-2 神戸ワシントンホテル1F
☎ 331-2122

サウンド イン キャンデー
中央区北長狭通1-21-15 ニューアंकビル3F ☎ 392-3606

スタンド グラムール
生田筋岸ビル地階 ☎ 331-4637

サロ 神 戸 時 代
中央区中山手通1-23-10
モンシャウトコトブキビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ サヴェオイ
高梁山側 テキの店北 ☎ 331-2615

LOUNGE コリーナ ドーロ
中央区中山手通1-22-13
ヒルサイドテラス1F ☎ 222-5470

ミュージック・ラウンジ サントノーレ
トアロード店 中央区下山手通2-5-6 ☎ 391-3822
北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ6F
☎ 221-3886

スタンド 千里
中央区下山手通2-11-1 K.S.Mビル1F ☎ 331-4730

茶 舌 洞 で っ さ ん
中央区北長狭通1-5-12 ☎ 331-6778

STAND マッシュケナダ
中央区中山手通1-4-6 ユーベルビル4F
☎ 331-5587

メンバーズ モンテカルロ
中央区中山手通1-7-6 ニュー友藤ビル1F ☎ 391-0081

シャングリラ 中山手通1マリンビル1F ☎ 391-8941

グランプリ 中山手通1ニュー友藤ビル1F ☎ 391-4406

WINE & RESTAURANT 酒 夢 猫
中央区中山手通1-13-14 神戸酒販ビル2F ☎ 332-3308

末広光夫の ティファニー
中央区中山手通1-21-13 ☎ 241-1771

Wine and Something 珍地理屋
中央区中山手通1-22-10
大和ナイトプラザ1F ☎ 242-0288

SNACK ブチおるごーる
中央区下山手通2-11-1 K.S.Mビル2F ☎ 332-2680

レジャービル 西村ビル
中央区北長狭通2-12-10(生田筋) スーパーステーション
ランダムハウス45rpm 虎造坊 楽珍 エスカイヤクラブ

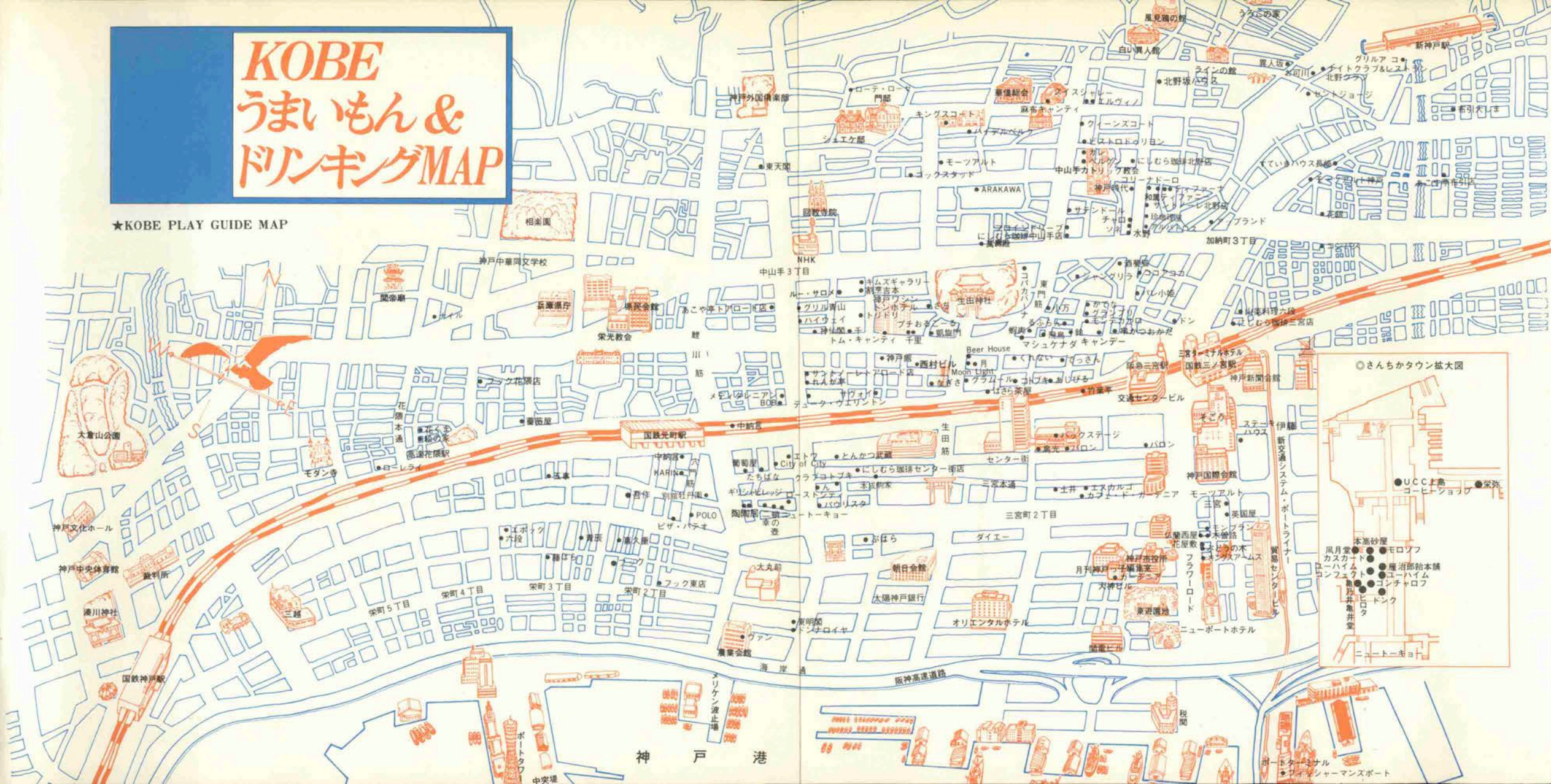
スタンド かてな
中央区中山手通1-7-10 英健ビル1F ☎ 331-1316

ファミリア スナック ローレイ
神戸市中央区北長狭通6-3-3
高遠花園駅西口東地下 ☎ 371-0086

KOBE

うまいもん & ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP



A HAPPY WEDDING



♥ 身心ともに健やかな家庭作りを

川本 辰美・美佐江さん夫妻 昭和58年6月12日(奉式)

(兵庫県警本部交通部運転免許課勤務・垂水区在住)

於・神戸平安閣

スポーツ好きな二人が、お互いに言葉を交わすようになったのは、日課のジョギングを通じて。昼休みの合間を利用して、自動車試験場内を毎日走るグループの中に美佐江さんと辰美さんがいた。プロボーズは昨年の3月。「夢のようなことよりも堅実な家庭作りをめざしたい」と、ハネムーンは北海道へと旅立っていきました。

総合結婚式場



平安閣

神戸／神戸市兵庫区新開地3丁目2-15
阪神／尼崎市昭和通5丁目132

☎ (078) 351-3390
☎ (06) 413-3303(代)

KOBE
HEIANKAKU



HANSHIN
HEIANKAKU





●キャラクターを創る <永田良介商店>



具の老舗が並んでいる。
この道三十年のベテラン

免許を受けることができる。

「いろんな工程があるので十年たつて一人前というところですね。オーダー家具なので、作っていて飽きることがないですね。近頃は刃物や接着剤が随分よくなりましたよ」と小島工場長の

眼の前で一竿ずつ丁寧に造られるオリジナル家具の暖かみが伝わってきた。

●永田家具工芸/神戸市垂区多聞町字小東山975-169

TEL(078)784-5913

手づくりの暖かみ

午前八時。垂水区の木工センターにある永田家具工芸の工場の始業ベルが鳴る。

永田家具工芸は永田良介商店の手作り家具を制作する部門で、この団地協同組合

神戸木工センター（永田良一郎理事長）ができたのは昭和四十三年、五五、一二三平方メートルに三十数社の伝統を持つ手作り神戸家具の老舗が並んでいる。

小島賢壮工場長から、今春訓練校を卒業して入社したの十七歳の青年まで十六名のスタッフが揃っている。一八〇坪の敷地では、木取りされた材料が職人の手によって綿密に組み立てられていく。

ハイカラ神戸の 伝統が育んだ 格調ある専門店

●このシリーズはファッション都市KOBЕへの私たちの願いをこめて...

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区「宮町3丁目」1-4 ☎331-3737~9

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

神戸市中央区「宮町3丁目」1-9 ☎331-5190

★オートクチュール

マスターニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★世界のオシャレをお届けする

ウネ

神戸市中央区元町通1丁目14-13 ☎331-3112

★よろず御機衣縫上處

神戸シヤリ

神戸市中央区「宮町3丁目」1-6 ☎331-2168

★婦人帽子

maxim マキシン

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★舶来品ブティック

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707



西宮市のY氏邸

SHOPPING IN AUGUST

神戸の夏を、あなたに...



●べっ甲 太田べっ甲店

元町1番街山側 ☎331-6195

トーンの違うべっ甲のグラデーションを楽しむ。シャープで洗練された大人のあなたのアクセサリ。



●宝石・アクセサリ・バッグ

アンズ杏

センタープラザ1F ☎332-3907

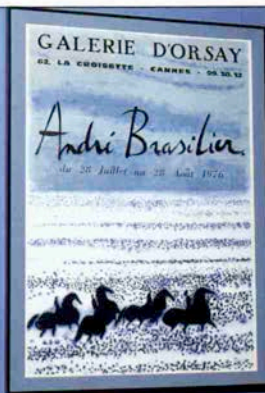
手頃な18Kのブレスレットが入荷中。夏にぴあえる象牙のアクセサリも豊富に揃いました。



●画材・額縁 末積製額

トアロッド・大丸前 ☎331-1309

絵を選ぶ、それに合った額縁を選ぶ、絵を飾る。そんな心の余裕を大切に。お部屋に涼しいアクセントを...



●パンの歴史をつたえる

カスカード

さんプラザ店 ☎331-9738

珍しい世界のハムやフレッシュな野菜が一杯のサンドイッチ、カスカードは、カスカードにおまかせください。



神戸で味わう中国の味

<中国料理の魅力>



フランス料理と並んで料理の王様と中国料理はいわれ。同じ王様でも歴史と古さと種類の豊富さでは中国料理の方がはるかに上である。中国料理の味の魅力は材料の味をうまく生かしている所にある。上海、北京、広東、四川等各料理の中で味のこってりした上海料理は中国料理の代表といえるだろう。牛肉、豚肉、エビ、鶏、野菜をたくみに料理し一つのテーブルに供する事のできるのも中国料理しかない。そういう点では食文化の横綱といえる。豊富な種類と味、中国料理の魅力はそこにある。



宮田達夫

(MBSナウ ディレクター)

★海の幸を使った中国海鮮料理 海鮮酒家 海皇

神戸店 中央区二宮町3丁目12大西ビル
(078) 242-0008 (代表)

お子様料金が半額に 高校生以下のお子様が一緒の場合、お料理(コース)はすべて50%割引とさせていただきます。



★広東名菜レストラン

別館牡丹園御影本店

東灘区御影山手1-2-10 御影ガーデンシティ
2F (078) 821-6666

阪急御影駅の山側、閑静な住宅街にあるミカゲガーデンシティの2階。ゆつくり寛げご家庭連れにも好評です。



★フランス風中華料理 夢香亭

中央区栄町通1丁目3-16 チャイナコート2F
(078) 332-0191 毎水曜休み

5千年の伝統と歴史の中国料理に、近代フランス料理の手法と演出を加えた新しい味の芸術品をお楽しみください。



★大衆料理から高級料理まで 中国料理 栄和館

中央区栄町1-2-28 南京街
(078) 392-1982

中国の高級料理が手頃な値です。夏場は冬瓜(とうがん)が。神戸で「中国の夏」が





節の味覚が味わえる〈のんべえコース〉……2,500円
 本酒またはビール1本と日本料理7品（いかの糸造り、こんにゃくの酢
 えあえ、豆腐料理、神戸肉のたたき又は焼きに、おまかせ料理3品）

甘党と和風らーめんの店



阪急三宮駅西口山側レインボープラザ1F ☎321-6363



丸太の民芸調の店内で味わう季節感あふれた串焼。仲間
 でイワイ楽しめて、店内も手づくりなら味も手づくり、女性
 も人気のあるお店です。

季節料理・ぞうすい
 オリジナル串焼



中央区北長狭通 2-10-10 ☎391-0759
 （神戸サウナ南へ50メートル）PM 5:00～AM 2:00



今月のおすすめ料理 ロミロミサーモン ¥1,200
 スモークサーモンをフルーツドレッシングとココナツ
 ミルクにつけこんだハワイの名物料理。



ロマンチックな港のレストラン

フィッシャーマンズ・ポート

ポートライナー・ポートターミナル駅ビル内

☎331-0301～2 月曜日定休



欧羅巴アンティークとミナト神戸の2婦夫達。カウンターで
 気軽なおしゃべりをしながらの鉄板焼もゴキゲンな味です。

NIGHT IN KOBE

I took a little trip to my home town, I only stopped just to took around.
 And as I walked along the through fare there was music playing everywhere.

GALLERY AND PEOPLE 4

ギヤラリー /

神戸現代美術

ギャラリーー

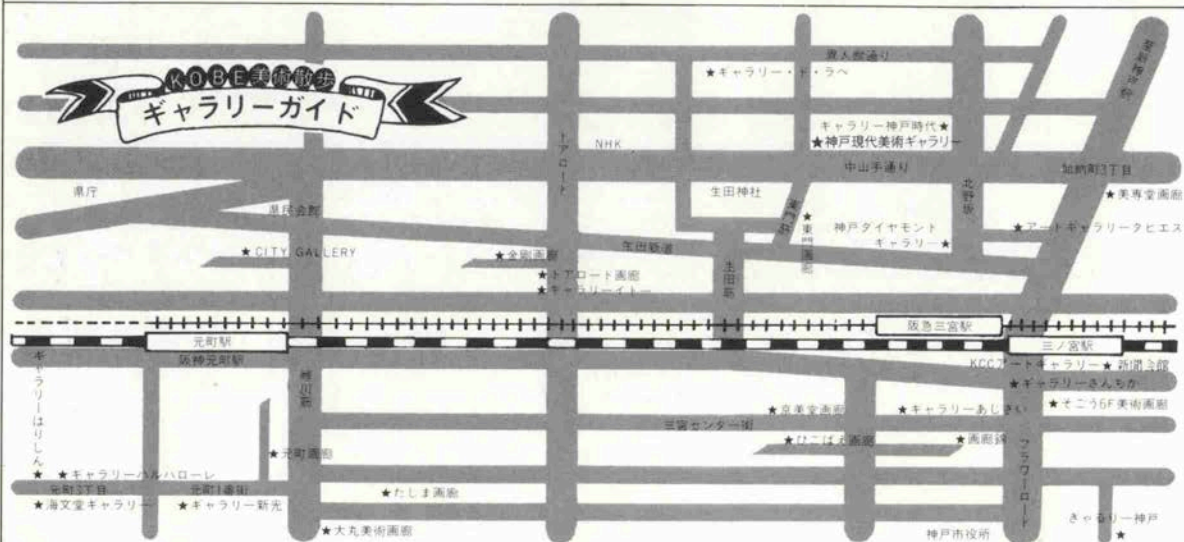
ヨデン マモルさん



作家修業のレンタルギャラリー

かって東京に田村画廊があった。若い作家たちがこぞって集い、ギャラリーをレンタルした。

大阪では信濃橋画廊がそれであり、松井憲作さんらが修業した。今、神戸では、神戸現代美術ギャラリーがそれをなさんとする。昨年5月に創設、美術記者出身のヨデンさんのポリシー、情熱が次第に浸透しつつある。プロデューサーとして、一観客として、将来を見据える。27歳。



畫廊 藥

8/2~7 写友7人展
 9~14 盆休み
 16~21 改装工事
 23~28 水沢弘作陶展

神戸市中央区三宮町1丁目
6-3 (パレックス東隣)
☎ (078) 391-4137 月曜休

画廊 錦

9/4~9 二人展
内田國雄・尾崎 悟
11~16 一彩会日本画展
25~30 つくりまし展
洋画・写真・デザイン

神戸市中央区三宮町1丁目
5-30 三宮センター街
☎ (078) 331-1721-3水曜休

ギャラリー
あじさい



神戸市中央区三宮町1丁目
8-1-305 さんプラザ3F
☎(078) 331-1639・1067日

SALON& GALLERY (北野坂)
神戸時代

常設展

神戸市中央区中山手通1丁目
23-10 モンシャトーコトブキ
ビル1F ☎ (078) 242-3567
喫茶(昼)土日休・スナック(夜)日曜休

ジョイント
ギャラリー

常設展

神戸市中央区三宮町1丁目
6-18 ジョイント3F
☎ (078) 331-2046